

69

NAGAI LEBEN

第69期報告書

2017年9月1日から2018年8月31日まで

いのちの力になりたい。

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ

ナガイズムから拓く未来。



代表取締役社長
澤登 一郎

長年にわたる金融緩和政策を背景に、日本企業の業績は明るさを増していますが世界経済においては、米国、中国間の貿易摩擦が将来に不透明感を与えています。今年、医療・介護業界では、6年に一度の診療報酬及び介護報酬の同時改定が4月に実施され、診療報酬本体および介護報酬がプラス改定されました。しかしながら法整備が目指す、医療と介護の垣根を超えた連携や、今年創設された介護医療院は、大きな変革への基礎整備の段階にあり、市場の乱れも予測されるところです。

私たちはこうした激動の先にある未来を見据え、新しい時代を先取りした商品を開発してまいりました。また、上昇する人件費と生産性のバランスという課題にも立ち向かう所存です。

さらに、昨年から始めた、資生堂との取り組みにおいては、ナースのためのビューティ講座や歴史白衣の貸し出しを積極的に行っており、弊社ならではのCSRを実現しました。

私たちはこれからも「ナガイズム」の柱である「人、企業利益、社会貢献」のバランスのとれたつながりを大切に、皆様のご期待にお応えできる企業活動を推進してゆく所存です。

ゆるぎない絆が時代を超える。

情報・技術革新による環境変化が急速に進み、人々の心に漠然とした不安を抱かせています。こうした時代背景を踏まえ、私たちは単に商品をお届けするだけでなく、商品を通してお客様の心をしっかり支え、ゆるぎない絆を構築することを目指してきました。個々のブランドは、お客様と安心・信頼・喜びを共有し、共感を生む施策です。資生堂との共同開発ブランドBrightdays®は、メイクアップなど、美しさを引き出す体験をご提供し、ナースとの関係を深めています。ビーズベリー®は看護と介護を連携する病院環境、クリニックのほか、個人需要にもお応えするブランドとして成長しています。また、最新機能を搭載するプロファンクション®は、医療特有の動作を科学的に解析し、医療従事者のためだけに設計・開発したナガイレーベン®の独自ブランドで、次代を担うウェアとして多方面から注目されています。さらに需要が広がるカラースクラブも品質面で差別化を進め、より良質な商品を求めるお客様に喜ばれています。こうした品質と、付加価値を支えるのは企画から生産までの一貫した取り組みです。企画の充実はもとより、新工場を建設し、最新鋭のシステムを完備。ますます多様化するお客様の要望に万全にお応えしています。さらに、子ども白衣の貸し出しやナガイレーベン®ならではの白衣の歴史講座、また、「いとなギャラリー」を活用したアート作品の展示など私たちにできることを、ひとつずつ積み上げています。尊いいのちを支え、「その先」へと、背中を押してくれる医療関係者の皆様に、心からの敬意と、「ありがとう」をお届けする企業として、これからも一層の努力を傾けてまいります。



ブライトデイズ® / 資生堂との共同開発ブランド。



ブライトデイズ®コンセプト(イメージ)写真

■ ■ ■ ■ ■
■ ■ ■ ■ ■
Bright Days
■ ■ ■ ■ ■
■ ■ ■ ■ ■



ビーズベリー® / 病院環境の変化にいち早く対応、新需要に応える。



PRO-FUNCTION®

プロ ファンクション®

New
Song®

×

PRO-FUNCTION®

プロ ファンクション®

プロファンクション® 医療従事者特有の動作を科学的に解析し独自に設計・開発。

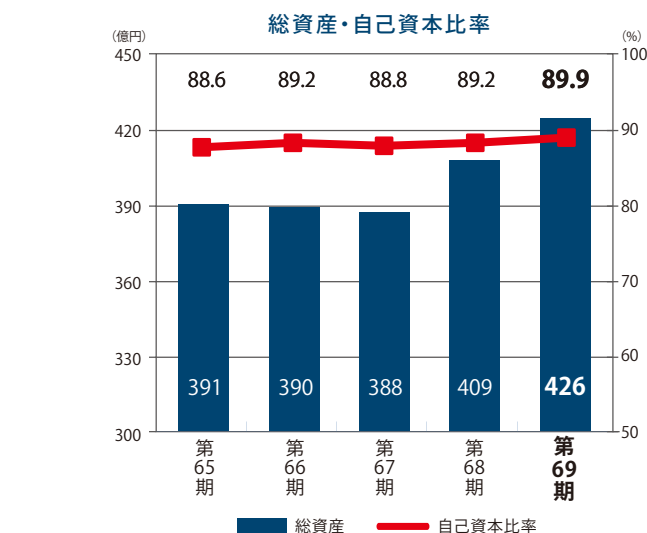
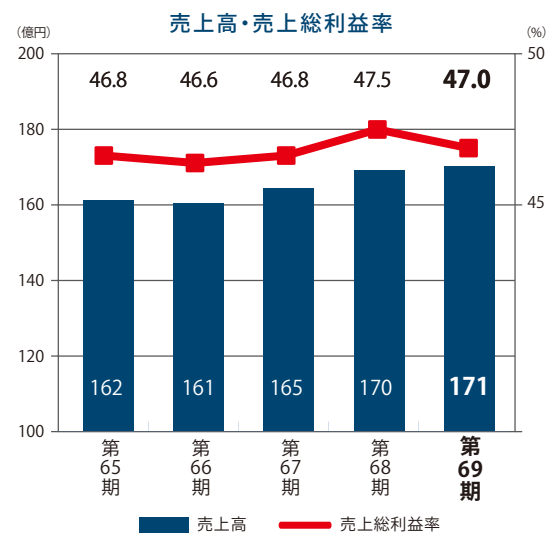
New Song® / 優れた品質に最新の機能性装備。

連結業績ハイライト Business Highlight

第69期決算の概要

売上高	171億円	前年同期比 0.7%増
売上総利益率	47.0%	前年同期比 0.5ポイント減
営業利益	52億円	前年同期比 0.4%増
当期純利益	36億円	前年同期比 0.1%増
総資産	426億円	前年同期比 16億円増
自己資本比率	89.9%	

主な経営指標



過去最高の売上高・営業利益を達成

医療・介護業界におきましては、6年に一度の診療報酬・介護報酬の同時改定が4月に実施され、社会保障費増加抑制の政府指針に基づき診療報酬は前回に引き続きマイナス改定となり、医療と介護の垣根を越えた制度改革においては介護医療院の創設等の大きな変革もあり、市場は多少の混乱が発生したものと推察されます。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェア及びドクターウェア、手術ウェアにおいて第3四半期に市場の混乱の影響を受け減収となりましたが、第4四半期には回復傾向に転じ、患者ウェアの大幅な増収も寄与し、過去最高の売上高となる171億44百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

生産に関しては、円安進行による海外生産費用額の増加や、国内の人手不足による人件費高騰による原価上昇を受けましたが、海外生産シフト効果や新商品群の販売も好調に推移した結果、売上高総利益率は47.0%(前年同期比0.5ポイント減)となりました。

来期の業績見通し

売上高	176億円	前年同期比 2.7%増
営業利益	52億円	前年同期比 0.4%減
当期純利益	36億円	前年同期比 0.7%減

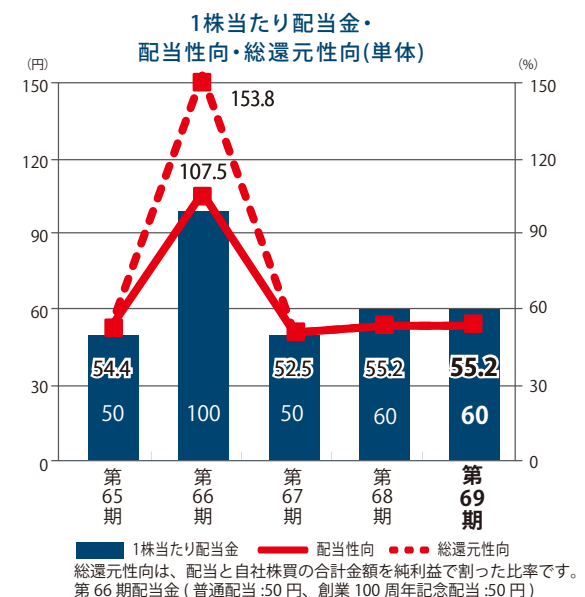
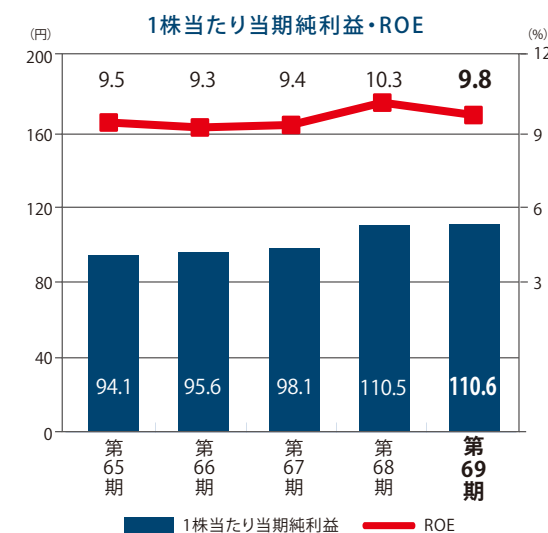
医療・介護業界におきましては、薬価基準の引下げ方針や来年10月からの消費税増税などがどのような影響を与えるか不透明感が強く、業界は混沌とするものと思われます。

当社グループといたしましては、このような状況下ではあるものの、連続して過去最高の売上高の達成を目指してまいります。

なお、次期における特殊要因として、国内縫製工場の新設による不動産取得税、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給による特別費用という過性費用の発生が見込まれております。

経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略
●看護・介護等コア市場の深耕
●患者・手術等周辺市場の拡大
●海外市場の開拓
安定供給に向けた生産戦略
●国内縫製工場の移転新設
- 国内生産体制の強化
- QR・小ロット多品種生産への対応力強化
●素材メーカー・商社との取り組み強化
収益力安定に向けた戦略
●国内生産から海外生産へのシフト
●EPA・FTAの優遇税制を活用した海外素材開発
●高付加価値戦略による事業収益性の確保



F 連結財務諸表の概要 inancial Statement

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 2017年8月31日	当期末 2018年8月31日
(資産の部)		
流動資産	32,325	33,327
固定資産	8,626	9,315
資産合計	40,951	42,643
(負債の部)		
流動負債	3,426	3,346
固定負債	979	951
負債合計	4,405	4,297
(純資産の部)		
株主資本	36,370	38,051
その他の包括利益累計額	175	293
純資産合計	36,545	38,345
負債純資産合計	40,951	42,643
1株当たり純資産	1,099円23銭	1,153円38銭

(2018年8月31日現在)
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

流動資産は、現金及び預金11億68百万円の増加、電子記録債権5億87百万円の増加、受取手形及び売掛金8億10百万円の減少により、前期比10億2百万円の増加となりました。

Point

固定資産は、国内縫製工場の新設により、前期比6億89百万円の増加となりました。

Point

資産合計は前期比16億91百万円の増加となりました。

Point

株主資本は前期比16億81百万円増加いたしました。株主還元として、19億94百万円の配当金の支払を実施いたしました。

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 2017年8月31日	当期末 2018年8月31日
株主資本合計(期首残高)	34,359	36,370
当期変動額	2,011	1,681
株主資本合計(期末残高)	36,370	38,051

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 2017年8月31日	当期末 2018年8月31日
売上高	17,017	17,144
売上原価	8,931	9,093
売上総利益	8,086	8,050
販売費及び一般管理費	2,843	2,786
営業利益	5,242	5,264
営業外収益	144	115
営業外費用	46	41
経常利益	5,340	5,338
特別利益	4	0
特別損失	3	0
税金等調整前当期純利益	5,341	5,338
法人税等	1,667	1,662
当期純利益	3,673	3,675
1株当たり当期純利益	110円49銭	110円57銭

Point

売上高および営業利益は過去最高を達成しました。

Point

前期は、外貨預金の為替差益44百万円がありましたが、当期は3百万円の為替差損を計上しました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは40億9百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、工場新設にともなう有形固定資産の取得による支出(8億78百万円)などがありました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(19億94百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は54億30百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 2017年8月31日	当期末 2018年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,979	4,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,389	△1,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,662	△1,994
現金及び現金同等物の増減額	△2,042	768
現金及び現金同等物の期首残高	6,704	4,662
現金及び現金同等物の期末残高	4,662	5,430

Our feature

1 ナガイズム：100年の時が醸成させた、ナガイレーベンの企業精神

「人」「利益」「貢献」の3本柱を軸とする、企業精神があり、それらを「ナガイズム」と称しています。「いのちの力になりたい」を目指し、それぞれの柱を大切にしながら、成長し続けています。

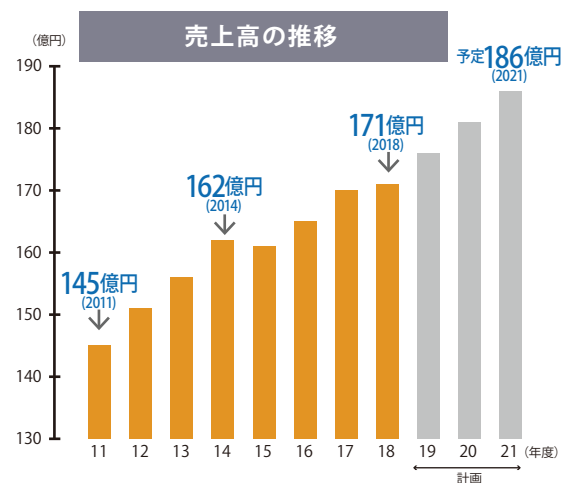
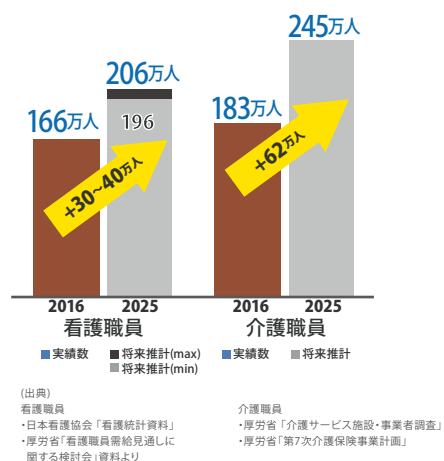
2 医療白衣メーカー専門として優位なポジションを確立

1915年の創業以来、メディカルウェア専門の製造販売メーカーとして事業活動を行っております。

- ・国内シェア60%超のリーディングカンパニー
- ・年間600万着以上を供給
- ・企画から製造、販売までを一貫して行う
- ・数千種類にも及ぶ豊富なアイテム数、オーダーメイド対応など競争力のある商品

3 安定伸長する市場環境 着実・安定的な企業成長を目指して

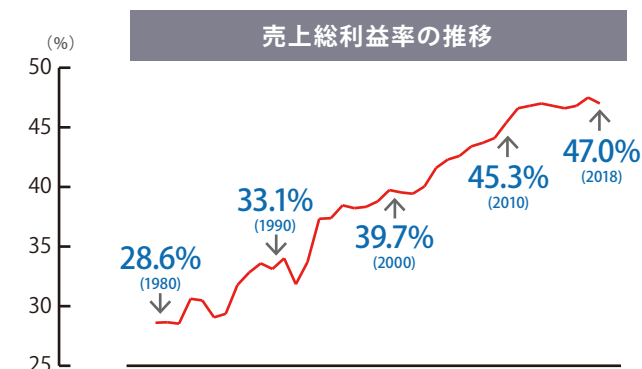
日本国内の看護・介護の従事者数は、社会保障の拡充などもあり、安定的な増員が予想されています。今後も当社は、独自の企業精神「ナガイズム」を大切にしながら、医療・看護・介護市場に特化し、その周辺市場を広げ、医療従事者のみなさまにさらに歓迎される商品を提案し、より社会に貢献できる企業を目指してまいります。



4 強固な収益体質と財務基盤

徹底的な効率化・原価低減を追求し、得られた収益をもとに、研究開発活動や生産拠点への投資を行い、白衣の商品価値のさらなる向上に努めています。

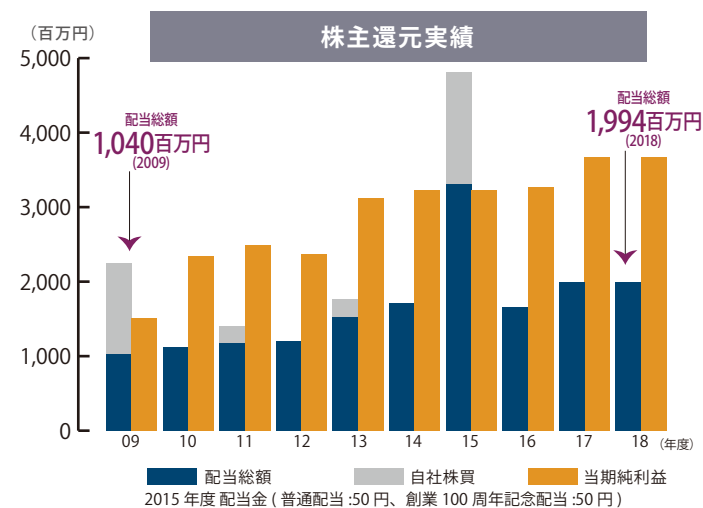
- ・売上総利益率 47.0% (2018年8月期)
- ・自己資本比率 89.9%
- ・ROE 9.8%



5 株式価値の向上 株主を重視した株主還元策

配当性向を純利益(単体)の5割程度とする方針とし、安定的な配当金額を継続し、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施しています。今後も、企業価値の向上のための成長機会への再投資も考慮しつつ、株主のみなさまへの利益還元に努めてまいります。

- ・一株当たり純資産(BPS) 1,153.4円
 - ・一株当たり当期純利益(EPS) 110.6円
 - ・一株当たり配当金(DPS) 60円
- (2018年8月期)



6 社会的責任 豊かな社会の実現とその持続に貢献

新たな取り組み



お客様

ナースのためのビューティ講座
医療現場のナースにふさわしいメイクアップ・立ち居振る舞い等を学べる実践講座を資生堂ジャパン(株)の協力を得て開催しています。



地域貢献

歴史白衣の貸し出し
歴史的な白衣のアーカイブを構築し、医療機関の催事等に無料で貸し出しを行なっています。

会社概要 Corporate Outline

商 号	ナガイレーベン株式会社	(2018年11月22日現在)
本 社	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号	
設 立	昭和25年7月20日	
資 本 金	1,925,273,475円	
社 員 数	117人(グループ従業員数506人)	(2018年8月31日現在)
役 員	代表取締役社長 澤 登 一 郎 常務取締役 経営企画本部長 斉 藤 信 彦 取締役 業務本部長 朝 井 克 司 取締役 企画本部長 山 本 康 義 取締役 営業本部長 新 谷 欣 哉 取締役 管理本部長 徳 江 健 取締役 常勤監査等委員 荻 野 和 孝 社外取締役 監査等委員 城 見 浩 一 社外取締役 監査等委員 三 嶋 浩 太	

主な事業所	本社 ナガイレーベン物流センター ナガイレーベン第2物流センター ナガイレーベン西日本物流センター 北海道支店 東北支店 名古屋支店 大阪支店 広島支店 福岡支店 高松営業所 台北支店 関係会社 ナガイ白衣工業株式会社
-------	---



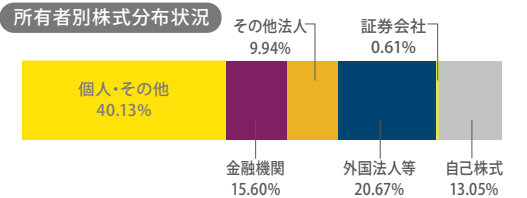
株式情報 Stock Information

株式情報

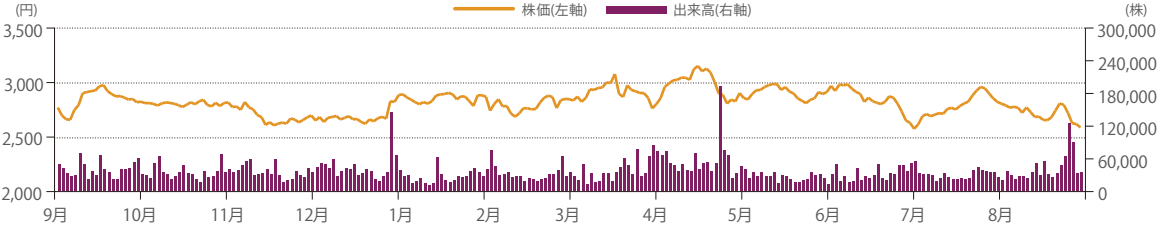
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数 (自己株式4,989,551株を除く)	33,246,449株
株 主 数	3,116名

大株主の状況		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,772,800	17.4
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,842,331	5.5
JP MORGAN CHASE BANK 380072	1,687,224	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,524,800	4.6
有限会社登龍	1,455,300	4.4
澤登 辰郎	1,050,200	3.2
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,022,000	3.1
RBC IST 15 PCT NONLENDING ACCOUNT -CLIENT ACCOUNT	891,600	2.7
澤登 春江	623,600	1.9
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	619,500	1.9

注1. 当社は、自己株式を4,989,551株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株価の推移



株主メモ

決 算 期	毎年8月31日
定 時 株 主 総 会	毎事業年度末の翌日から3か月以内
基 準 日	毎年8月31日
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL https://www.nagaileben.co.jp/

単 元 株 式 数	100株
銘 柄 コ ー ド	7447
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号

同 事 務 取 扱 所	日本証券代行株式会社 本店 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号
-------------	---

郵便物送付先・お問合せ先	日本証券代行株式会社 代理人部 〒168-8620 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 電話0120-707-843 (フリーダイヤル)
--------------	---

- 各 種 手 続 の お 申 出 先
- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
 - ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。



いのちの力になりたい。

本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935
営 業 本 部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417
東 北 支 店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004
名古屋支店 〒461-0002 名古屋市中区栄町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301
大 阪 支 店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700
広 島 支 店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003
福 岡 支 店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779
高松営業所 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329
台 北 支 店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <https://www.nagaileben.co.jp>
いとなギャラリーホームページ <https://www.itona.jp>



JQA-QMA11091
本社・国内事業所
JQA-EM4600
本社

※メディカル及びヘルスケア関連アレル製品